

## 令和2年度 学校運営連絡協議会実施報告書

### 1 組織

#### (1) 名称

令和2年度 東京都立富士高等学校・附属中学校 学校運営連絡協議会

#### (2) 事務局の構成

総務部主任=事務局長、経営企画室長 計2名

#### (3) 内部委員の構成

校長、副校長(2)、経営企画室長、教務情報部主任、進路学力部主任、生活指導部主任、  
高校学年主任代表、中学学年主任代表 計9名

#### (4) 協議委員の構成

P T A会長、同窓会長、近隣教育委員会統括指導主事、近隣自治会長、  
有識者〔大学教授〕(3)、近隣児童館長、消防署長、民生児童委員 計10名

### 2 令和2年度学校運営連絡協議会の概要

#### (1) 学校運営連絡協議会(第1～3回)の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和2年9月30日(水) 内部委員10名、協議委員7名

授業公開、協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出

平成31年度の学校経営計画達成状況と令和2年度の学校経営計画の説明、意見交換

第2回 令和2年11月20日(金) 内部委員10名、協議委員5名

授業公開、本校の現状と課題(1学期の成果現状分析、2学期に向けての課題・方策)

協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議

第3回 令和3年2月12日(金) 内部委員10名、協議委員7名

本校の現状と課題(これまでの成果現状分析、次年度に向けての課題・方策)

学校評価アンケートの集計結果及び分析結果報告 学校評価、協議

学校評価の報告及び学校運営に関する提言、協議、次年度に向けた方向性の確認

#### (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回 令和2年11月20日(金) 内部委員4名、協議委員4名

学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察

今年度の学校評価の実施に向けた検討

第2回 令和3年2月12日(金) 内部委員4名、協議委員3名

今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価(学校評価報告)

#### (1) 学校評価の観点

「学校経営計画の評価」の観点で実施する。

#### (2) アンケート調査の実施時期・配布対象・規模

1月に実施

中学校生徒全員	対象：	358人	回収：	342人	回収率：	95.5%
高校生徒全員	対象：	583人	回収：	363人	回収率：	62.3%
教職員全員	対象：	55人	回収：	38人	回収率：	69.0%
中学校保護者全員	対象：	358人	回収：	286人	回収率：	79.9%
高校保護者全員	対象：	583人	回収：	312人	回収率：	53.5%
近隣住民	対象：	20人	回収：	12人	回収率：	60.0%

#### (3) 主な評価項目

学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備、  
広報活動、体罰やいじめへの取組み、ライフワークバランス及び学校経営計画数値目標な

どの視点から、本校の現状や生徒、保護者の求めていること、学校経営計画の達成状況について、ポイントを絞って項目を設定する。

- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言等）
  - ・都内の他のSSH校などと比較しても、探究活動の内容、先生方の全員が協力した指導体制は非常によくなってきている。
  - ・検定、自習室、図書館などは今年度の特殊事情なので特に気にする必要はないと思う。
  - ・施設の改善、改修要望については、生徒、保護者、教職員とも高い。
  - ・高3での学力向上・学習指導で、極端に否定的な結果が増加している。受験対応を含めた3学年の授業内容の検討、塾・予備校に対応した補習授業などを検討する必要がある。
  - ・読書については、グランドデザインにもあるが、教養の裾野を広げるためにも積極的に取り組んでほしい。
  - ・一番大切なことは、集計ではなく、改善にどうつなげるかである。PDCAサイクルの中で調査はCなので、A（改善）が一番肝心な点だと思う。
- (5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言等）
  - ・自宅学習として学校から配信する課題やオンライン授業の在り方を見直すことで改善する。
  - ・東京都の理数アカデミー校から、文部科学省指定のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）へ発展させた理数教育のさらなる充実を図る。
  - ・GIGAスクール構想に基づいた、新しい学校の規範づくりを行う。
  - ・新型コロナウイルスによる学校の在り方や大学入試共通テストなど、大学入試制度の大きな変化があり、対応に苦労があったが、成果が評価された。
  - ・グランドデザインに基づき、図書の実践や利用広報を推進していく。

#### 4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価への反映）

- (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果
  - ・昨年度の質問項目と今年度の学校運営連絡協議会の指導・助言に基づき、質問項目の内容の改善及び本校の教育活動の特色を活かした新たな質問項目の設定などの変更を行った
  - ・協議委員との意見交換により、課題に対する具体的な対応策について助言を得ることができた。
- (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題
  - ・理数アカデミーや探究未来学の取組や成果について積極的な情報発信
  - ・進路実現に向けて、授業の向上とキャリア教育の充実
  - ・6年間一貫教育やグランドデザイン、SSHに向けての取組

#### 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画への反映）

- (1) 学校運営
  - ・学校ホームページをさらに活用し、積極的に情報発信する。
  - ・Classiを様々な教育活動に活用し、情報発信、情報の共有化を推進する。
  - ・中高一貫化に向けてグランドデザインを作成し、SSHへの取組を全校体制で行う。
  - ・ライフワークバランスを推進する。
- (2) 学習指導
  - ・溝上慎一氏を講師として、授業改善研修を年3回実施し、授業力向上を図った。
  - ・ClassiやMicrosoft Teams、HPなどを用いて毎週の課題配信やオンライン授業などの教員側の働きかけを継続して推進する。
  - ・6年間の指導計画と評価計画を作成した。さらに、ループリックにより生徒の多面的な資質・能力の向上を見取る取り組みを推進する。
- (3) 特別活動
  - ・本校の伝統である文武両道の校風を継承し、生徒の自主的な活動を支援する。
  - ・グランドデザインに基づく富士三人行事（体育祭、文化祭、合唱祭）の運営について協議し

ている。生徒の実行委員会により企画運営への生徒参加を推進する。

(4) 生活指導

- ・富士スマートスクール構想に基づき、スマートフォンやタブレットの使用に関して、生徒の主体性を生かしたルールを定着させる。
- ・避難訓練を計画的に行い、生徒の防災意識を高めるとともに、セーフティ教室を通して、薬物乱用防止、情報モラル教育など地域と連携した取組みを強化する。
- ・地域清掃、防災体験、近隣小学校、特別支援学校等への奉仕活動を通じて地域との連携し、体験を通して生徒の意識向上を図る。
- ・校内研修を充実させ、教員による体罰・暴言の撲滅を図るとともに、いじめに対しては、組織的に毅然とした対応が取れるように、いじめ防止基本方針の徹底を図る。

(5) 進路指導

- ・中高一貫教育校として、難関大学合格を含めた進学実績を目指す。
- ・模試や模試分析を活用し、生徒の学力把握、学力向上の推進、分析会など、校内の組織的な体制を推進する。
- ・自らの進路希望を高く維持できる意識づけをさせながら、自信をもたせる指導をする。
- ・同窓会(若竹会)や親父の会等との連携を深め、社会人の講演会や懇談会を実施し、キャリア形成を視野に入れたキャリア教育の充実をより一層推進していく。

(6) 健康・安全

- ・安全衛生委員会等、産業医との面談や研修、ライフワークバランスをより推進して、教職員のメンタルヘルス体制を構築する。
- ・スクールカウンセラーの活用を充実させる。
- ・学校の設備の整備や清掃に努め、学習環境を整える。
- ・ゴミの分別、省エネの推進を一層強化することで生徒の学習環境に対する意識を高める。

6 協議委員のアンケート結果 協議委員人数 10人 (回答者8名)

- 1 あてはまる      2 ややあてはまる      3 どちらかというとあてはまらない  
4 あてはまらない      5 わからないまたは該当なし

質問項目	1	2	3	4	5
1 富士高校・附属中学校は、難関大学に合格できる伝統ある進学校だと思う。	3	5	0	0	0
2 富士高校・附属中学校は、部活動が盛んな学校だと思う。	5	3	0	0	0
3 富士高校・附属中学校は、ルールやマナーを守り、節度ある行動がとれていると思う。	4	4	0	0	0
4 富士高校・附属中学校は、地域とのつながりを大切にしていると思う。	6	2	0	0	0
5 富士高校・附属中学校は、東京都教育委員会から理数アカデミー校に指定されて教育内容が充実したと思う。	5	3	0	0	0
6 富士高校・附属中学校は、体罰や暴言をなくすために積極的に取り組んでいる。	6	2	0	0	0
7 富士高校・附属中学校は、いじめをなくすために積極的に取り組んでいる。	6	2	0	0	0
8 富士高校・附属中学校は、教職員一人一人のライフ・ワーク・バランスの実現を図るために積極的に取り組んでいる。	2	6	0	0	0

9	富士高校・附属中学校は、学校改革に積極的に取り組んでいる。	6	2	0	0	0
10	富士高校・附属中学校は、グランドデザインに基づいて生徒の教養、調和力、理数的解決力、挑戦力を育成する教育活動に取り組んでいる。	5	3	0	0	0

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

(1)実績

なし

(2)成果

なし

8 その他

なし